

(新)

(旧)

川越市都市計画マスタープランの一部変更 新旧対照表

1. 都市活動軸の設定

川越市の自立性を高め、県南西部地域の拠点都市の形成に向けて、近隣都市及び地域相互が円滑に交流できる有機的な連携が重要です。そのため、拠点相互をつなぎ、多量の人、物、情報が流れる都市活動軸を、立地状況や求められる役割に応じて“道路を中心とする都市軸”と“鉄道を中心とする鉄道軸”の2つの軸に分け、それぞれの特性に応じた強化を図ります。

①都市軸：活発な都市活動を支える幹線道路とその沿道で展開される都市機能の連続

- (ア) 放射状・環状に幹線道路を配置し、川越市内の円滑な移動、他都市との円滑な交流を可能にする都市軸を構築します。
- (イ) 現在川越市の交通の骨格をなしている国道16号、国道254号に加え、新たに環状道路の整備によって、市外縁部で展開する多様な拠点を連絡する新しい都市軸の形成を進めます。
- (ウ) 国道や環状道路等の広域幹線道路を補完する幹線道路により交通の主軸を支え、他都市との連携強化を目指し、結節点としての都市機能の充実を進めます。

②鉄道軸：3本の鉄道を媒介にしたまちのつながり

鉄道による多様な都市活動の流れを大切にし、それぞれの特性を生かした軸の形成を進めます。

- 1 東武東上線軸：川越市を支える大動脈
- 2 西武新宿線軸：隣接する所沢と連携した県南西部の拠点間をつなぐ軸
- 3 JR川越線軸：これからの新たな都市発展を支える軸

2. 拠点と生活圏の形成

(1) 地域活動の中心となる拠点の形成

「都市生活の利便性を高め都市活動・交流の場となる都市拠点の配置と各拠点の機能連携」

①都心核

三駅周辺地区から北都市街地に至る南北に長い中心市街地を都心核と位置づけま。更に、この三駅周辺の商業業務中心地を都市的活動核、北部の伝統的な町並み景観が見られる地区を歴史・水・緑の核に位置づけます。

1. 都市活動軸の設定

川越市の自立性を高め、県南西部地域の拠点都市の形成に向けて、近隣都市及び地域相互が円滑に交流できる有機的な連携が重要です。そのため、拠点相互をつなぎ、多量の人、物、情報が流れる都市活動軸を、立地状況や求められる役割に応じて“道路を中心とする都市軸”と“鉄道を中心とする鉄道軸”の2つの軸に分け、それぞれの特性に応じた強化を図ります。

①都市軸：活発な都市活動を支える幹線道路とその沿道で展開される都市機能の連続

- (ア) 放射状・環状に幹線道路を配置し、川越市内の円滑な移動、他都市との円滑な交流を可能にする都市軸を構築します。
- (イ) 現在川越市の交通の骨格をなしている国道16号、国道254号に加え、新たに環状道路の整備によって、市外縁部で展開する多様な拠点を連絡する新しい都市軸の形成を進めます。
- (ウ) 国道や環状道路等の広域幹線道路を補完する幹線道路により交通の主軸を支え、他都市との連携強化を目指し、結節点としての都市機能の充実を進めます。

②鉄道軸：3本の鉄道を媒介にしたまちのつながり

鉄道による多様な都市活動の流れを大切にし、それぞれの特性を生かした軸の形成を進めます。

- 1 東武東上線軸：川越市を支える大動脈
- 2 西武新宿線軸：隣接する所沢と連携した県南西部の拠点間をつなぐ軸
- 3 JR川越線軸：これからの新たな都市発展を支える軸

2. 拠点と生活圏の形成

(1) 地域活動の中心となる拠点の形成

「都市生活の利便性を高め都市活動・交流の場となる都市拠点の配置と各拠点の機能連携」

①都心核

三駅周辺地区から北都市街地に至る南北に長い中心市街地を都心核と位置づけま。更に、この三駅周辺の商業業務中心地を都市的活動核、北部の伝統的な町並み景観が見られる地区を歴史・水・緑の核に位置づけます。

(新)

◆ 都市的活動核：三駅を中心とした周辺

県南西部地域の拠点として、ターミナル機能を持ち、集客力の高い広域的都市機能が備わっている

- 大型店や路線型商業による昼間集客力、並びに夜間も含めた飲食施設、及び文化施設等の複合による総合的集客能力の充実

◆ 歴史・水・緑核：北部の伝統的町並み

一番街を中心に伝統的建造物が集積するとともに、新河岸川や喜多院、本丸御殿などの歴史的資源が集積する観光地として、魅力的空間を有している

- 歴史的景観の保全・誘導を図り、商業、文化等の機能を高めた魅力ある都市空間の創造

②地域核：霞ヶ関・南大塚・新河岸・南古谷の各駅を中心とした生活圏域の中心地

鉄道駅を中心に旧来から地域中心的商業地としての都市機能及び都市的活動核を補完する機能と地域レベルの行政・文化機能が備わっている

- 生活圏における、地域の顔としての商業を中心とした機能の充実

③生活核：的場・笠幡・鶴ヶ島・西川越の各駅を中心とする地域核を補完する生活拠点

日常生活の拠点となる生活の場としての機能が備わっている

- 旧来からの地区中心商業地として、商店街が集積した地域コミュニティを育む活動拠点となる基盤整備や環境整備
- 新たな市街地形成の中心となる生活拠点にふさわしい多様な都市機能の充実

④産業拠点：川越狭山工業団地、富士見工業団地、川越工業団地

産業構造や都市構造の変化に対応した活力ある産業機能が備わっている

- 既存工業団地の整備・拡充とともに優良先端産業の誘致、工業の集約化等による自立した産業構造を構築

(旧)

◆ 都市的活動核：三駅を中心とした周辺

県南西部地域の拠点として、ターミナル機能を持ち、集客力の高い広域的都市機能が備わっている

- 大型店や路線型商業による昼間集客力、並びに夜間も含めた飲食施設、及び文化施設等の複合による総合的集客能力の充実

◆ 歴史・水・緑核：北部の伝統的町並み

一番街を中心に伝統的建造物が集積するとともに、新河岸川や喜多院、本丸御殿などの歴史的資源が集積する観光地として、魅力的空間を有している

- 歴史的景観の保全・誘導を図り、商業、文化等の機能を高めた魅力ある都市空間の創造

②地域核：霞ヶ関・南大塚・新河岸・南古谷の各駅を中心とした生活圏域の中心地

鉄道駅を中心に旧来から地域中心的商業地としての都市機能及び都市的活動核を補完する機能と地域レベルの行政・文化機能が備わっている

- 生活圏における、地域の顔としての商業を中心とした機能の充実

③生活核：的場・笠幡・鶴ヶ島・西川越の各駅及び安比奈線新駅を中心とする地域核を補完する生活拠点

日常生活の拠点となる生活の場としての機能が備わっている

- 旧来からの地区中心商業地として、商店街が集積した地域コミュニティを育む活動拠点となる基盤整備や環境整備
- 新たな市街地形成の中心となる生活拠点にふさわしい多様な都市機能の充実

④産業拠点：川越狭山工業団地、富士見工業団地、川越工業団地

産業構造や都市構造の変化に対応した活力ある産業機能が備わっている

- 既存工業団地の整備・拡充とともに優良先端産業の誘致、工業の集約化等による自立した産業構造を構築

(新)

(2) 自立した生活圏の構築

「地域特性を生かし、日常生活の中でまとまりのある圏域」

今までのまちの発展は中心部から放射状に広がり、鉄道駅を中心にまちを形成してきました。今後のまちづくりは、地域固有のアイデンティティを確立した自立ある生活圏の構築を進めていくことが求められています。そのため、市域を5つの生活圏として設定し、それぞれの生活圏で地域住民が豊かな生活を営め、利便性の向上を目指す都市づくりを進めていきます。

●生活圏域：5つの生活圏

中心部 大東 南古谷 霞ヶ関 高階

(3) 都市と自然が共存する2つのゾーン設定

「コンパクトな市街地とそれを包み込む自然共生ゾーン」

①地域活動ゾーン

鉄道駅を中心とする地域の活動的な市街地のまとまりを、地域活動ゾーンとして位置づけ、川越市内における市街地間の関連性から、快適な都市活動ができる開発・改善等の整備や自然環境の保全等を一体的に進めます。

②自然共生ゾーン

市街地を包み込み自然環境を大切にするまとまりを、自然共生ゾーンとして位置づけ、自然と集落（都市）が共生する環境整備及び自然環境の保全策を検討していきます。

(旧)

(2) 自立した生活圏の構築

「地域特性を生かし、日常生活の中でまとまりのある圏域」

今までのまちの発展は中心部から放射状に広がり、鉄道駅を中心にまちを形成してきました。今後のまちづくりは、地域固有のアイデンティティを確立した自立ある生活圏の構築を進めていくことが求められています。そのため、市域を5つの生活圏として設定し、それぞれの生活圏で地域住民が豊かな生活を営め、利便性の向上を目指す都市づくりを進めていきます。

●生活圏域：5つの生活圏

中心部 大東 南古谷 霞ヶ関 高階

(3) 都市と自然が共存する2つのゾーン設定

「コンパクトな市街地とそれを包み込む自然共生ゾーン」

①地域活動ゾーン

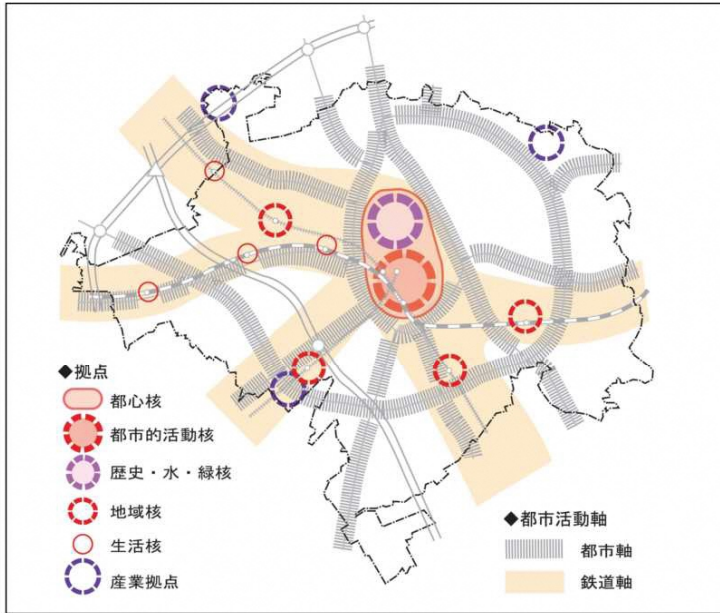
鉄道駅を中心とする地域の活動的な市街地のまとまりを、地域活動ゾーンとして位置づけ、川越市内における市街地間の関連性から、快適な都市活動ができる開発・改善等の整備や自然環境の保全等を一体的に進めます。

②自然共生ゾーン

市街地を包み込み自然環境を大切にするまとまりを、自然共生ゾーンとして位置づけ、自然と集落（都市）が共生する環境整備及び自然環境の保全策を検討していきます。

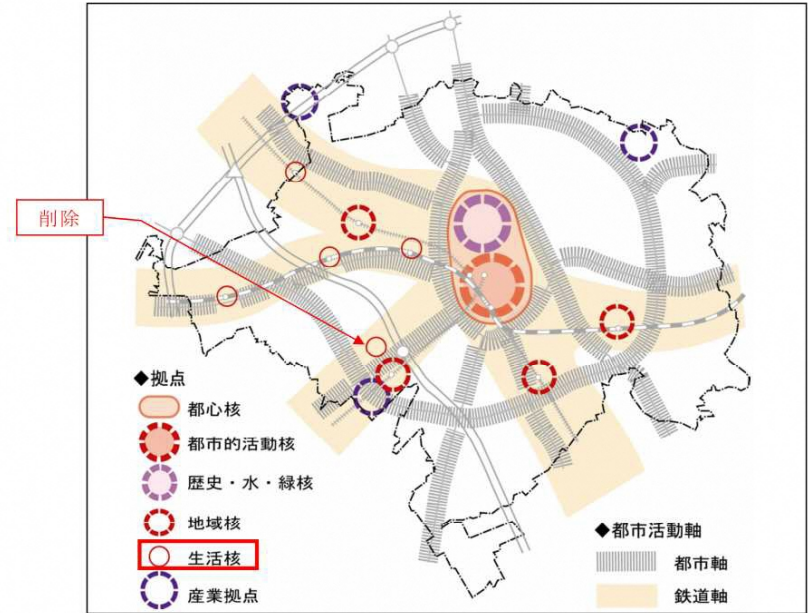
(新)

●視点と都市活動軸



(旧)

●視点と都市活動軸



●5つの生活圏と2つのゾーン



●5つの生活圏と2つのゾーン



3. 都市環境の骨格づくり

(1) 緑系

「川越の恵まれた自然環境ゾーンと核」

① (仮称) 川越市森林公園とくぬぎ山地区の里山

(仮称) 川越市森林公園および所沢市、狭山市、三芳町にまたがりまとまった雑木林が広がる「くぬぎ山地区」は、自然環境ゾーンとして位置付け、ふるさとの緑と景観を形成する里山らしい自然環境の保全と活用を図ります。

② 市西部丘陵の森林

武蔵野の面影を残す名細地区及び霞ヶ関地区の広大な樹林地は、自然環境ゾーンと位置付け、市の貴重な緑として活用し、自然とふれあえる場の創造を進めます。

③ 運動公園を核としたレクリエーションゾーン

伊佐沼と連携する川越運動公園周辺は、景観を重視した緑の核と位置付け、市民が憩い集うスポーツ・レクリエーションの場の創造を進めます。

④ 河越館跡の活用

郷土学習の場、市民の憩いの場として河越館跡の有効活用を図ります。

(2) 水系

「市の輪郭となる自然の軸と核」

荒川、入間川、新河岸川、小畔川、不老川等の河川や伊佐沼、低地に広がる水田など、河川及び河川沿いの自然豊かな地域を「市の輪郭となる自然の軸と核」に位置付け、親水空間として保全・活用を進めます。

- 荒川、入間川を基軸とした、水と緑の骨格軸
- 歴史性の高い新河岸川を水の軸
- 伊佐沼、川越公園(水上公園)、なぐわし公園を中心としたレクリエーションゾーンとしての水の核

3. 都市環境の骨格づくり

(1) 緑系

「川越の恵まれた自然環境ゾーンと核」

① (仮称) 川越市森林公園とくぬぎ山地区の里山

(仮称) 川越市森林公園および所沢市、狭山市、三芳町にまたがりまとまった雑木林が広がる「くぬぎ山地区」は、自然環境ゾーンとして位置付け、ふるさとの緑と景観を形成する里山らしい自然環境の保全と活用を図ります。

② 市西部丘陵の森林

武蔵野の面影を残す名細地区及び霞ヶ関地区の広大な樹林地は、自然環境ゾーンと位置付け、市の貴重な緑として活用し、自然とふれあえる場の創造を進めます。

③ 運動公園を核としたレクリエーションゾーン

伊佐沼と連携する川越運動公園周辺は、景観を重視した緑の核と位置付け、市民が憩い集うスポーツ・レクリエーションの場の創造を進めます。

④ 河越館跡の活用

郷土学習の場、市民の憩いの場として河越館跡の有効活用を図ります。

(2) 水系

「市の輪郭となる自然の軸と核」

荒川、入間川、新河岸川、小畔川、不老川等の河川や伊佐沼、低地に広がる水田など、河川及び河川沿いの自然豊かな地域を「市の輪郭となる自然の軸と核」に位置付け、親水空間として保全・活用を進めます。

- 荒川、入間川を基軸とした、水と緑の骨格軸
- 歴史性の高い新河岸川を水の軸
- 伊佐沼、川越公園(水上公園)、なぐわし公園を中心としたレクリエーションゾーンとしての水の核

(新)

(3) 歴史系

「市を象徴する歴史観光拠点」(新河岸川一帯の歴史と水と緑が彩る核)

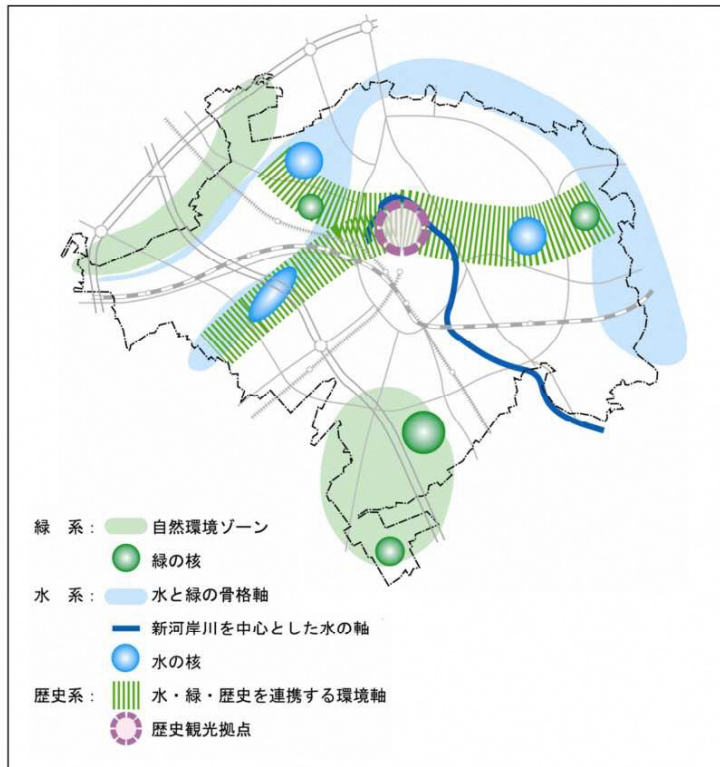
一番街を中心とした蔵造りの町並み、喜多院などの寺社と新河岸川沿いの歴史的環境を有している地区を中心に、歴史観光拠点として位置付け、歴史資源の保全と活用及びネットワーク化を図ります。

(4) 水、緑と歴史を連携する環境軸

荒川・入間川から歴史、水、緑の核を連携する「環境軸」

川越の特徴である歴史や豊かな緑、水を有機的に連携する空間的つながりを環境軸として位置付け、道路整備を含めた周辺整備により快適な都市づくりを進めます。

●都市環境の骨格づくり



(旧)

(3) 歴史系

「市を象徴する歴史観光拠点」(新河岸川一帯の歴史と水と緑が彩る核)

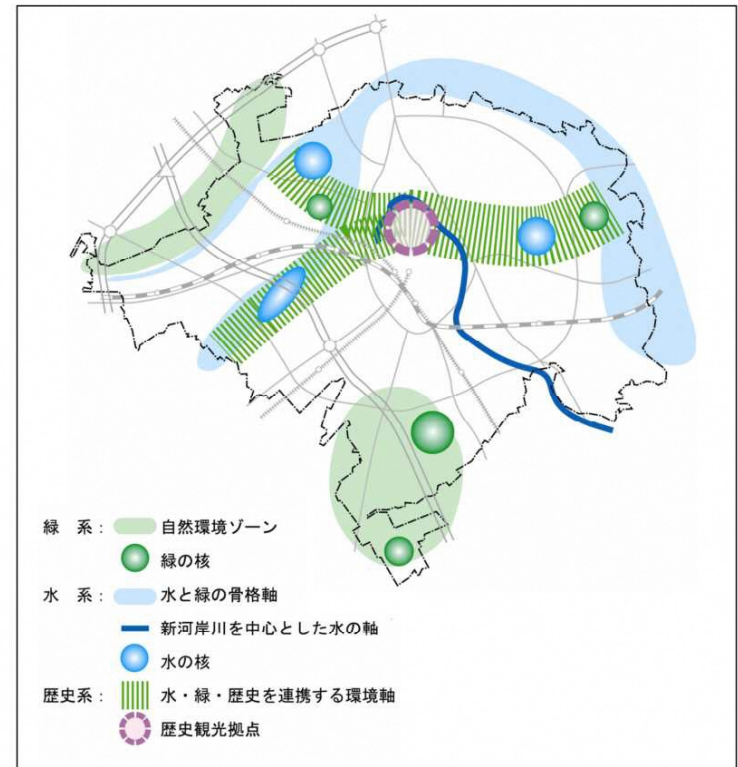
一番街を中心とした蔵造りの町並み、喜多院などの寺社と新河岸川沿いの歴史的環境を有している地区を中心に、歴史観光拠点として位置付け、歴史資源の保全と活用及びネットワーク化を図ります。

(4) 水、緑と歴史を連携する環境軸

荒川・入間川から歴史、水、緑の核を連携する「環境軸」

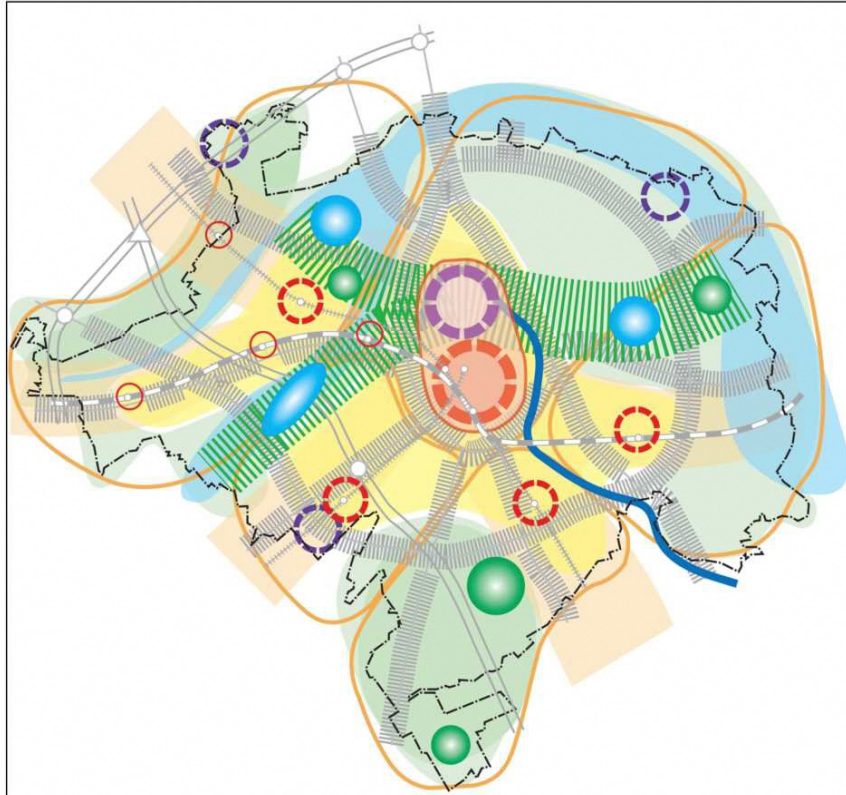
川越の特徴である歴史や豊かな緑、水を有機的に連携する空間的つながりを環境軸として位置付け、道路整備を含めた周辺整備により快適な都市づくりを進めます。

●都市環境の骨格づくり



(新)

●将来都市構造

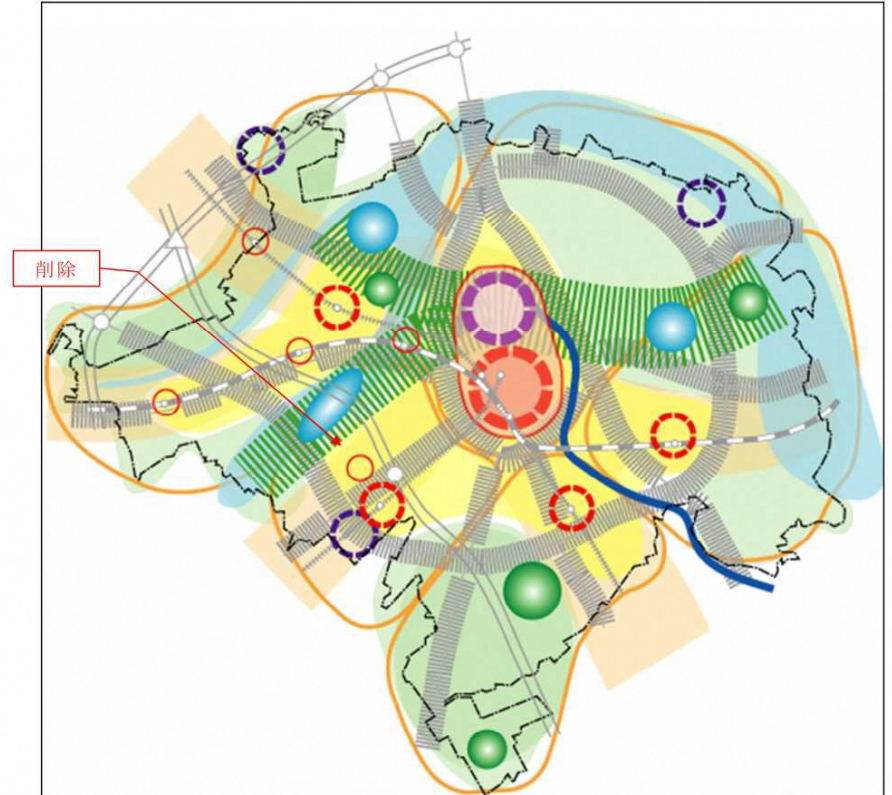


- ◆都市活動軸
 - 都市軸
 - 鉄道軸
- ◆拠点
 - 都心核
 - 都市的活動核
 - 歴史・水・緑核
 - 地域核
 - 生活核
 - 産業拠点

- ◆5つの生活圏と2つのゾーン
 - 生活圏域
 - 地域活動ゾーン
 - 自然共生ゾーン
- ◆都市環境の骨格
 - 緑系：
 - 自然環境ゾーン
 - 緑の核
 - 水と緑の骨格軸
 - 新河岸川を中心とした水の軸
 - 水の核
 - 歴史系：
 - 水・緑・歴史を連携する環境軸
 - 歴史観光拠点

(旧)

●将来都市構造



- ◆都市活動軸
 - 都市軸
 - 鉄道軸
- ◆拠点
 - 都心核
 - 都市的活動核
 - 歴史・水・緑核
 - 地域核
 - 生活核
 - 産業拠点

- ◆5つの生活圏と2つのゾーン
 - 生活圏域
 - 地域活動ゾーン
 - 自然共生ゾーン
- ◆都市環境の骨格
 - 緑系：
 - 自然環境ゾーン
 - 緑の核
 - 水と緑の骨格軸
 - 新河岸川を中心とした水の軸
 - 水の核
 - 歴史系：
 - 水・緑・歴史を連携する環境軸
 - 歴史観光拠点

②複合市街地の住環境の確保

- ・山田地区は、農地、低層住宅、流通系施設が混在した地区です。今後は、宅地化農地を適正に誘導し、流通系業務地区としての操業環境と中低層住宅地としての環境調和に配慮したまちづくりが求められてきます。
- ・泉町は、大規模工場跡地の計画的な開発により、商業施設と都市型住宅の建設が進んでいます。こうした地区では、商業地としての機能と住宅地における安全性、快適性、うるおい等を重視した総合的な市街地整備を検討することにより、多様な居住形態に対応した良質な住宅の供給を図っていきます。

③多様な人々が住み続けられる良質な住宅の供給

- ・公営住宅では、住宅に困窮する人々のために、適正に住宅を供給するよう努めます。特に、高齢者や障害者向けの住宅の供給も考える必要があります。また、民間住宅でも、多様な家族・世帯の状況に応じた住宅が適切に供給されるよう、積極的な支援・誘導策を検討します。

4) 新しい拠点の整備**(1) 周辺環境や地区特性に応じた新たな拠点整備**

本市は約70%が市街化調整区域です。その大部分は、豊かな田・畑等ですが、一部で産業地の拡大や公共公益施設そして水と緑の拠点等の整備が検討されています。

これらの新たな拠点整備については、周辺の豊かな自然環境等との調和を目指し、総合的・計画的な土地利用の検討を進めていきます。

①新たな産業地の創出

- ・周辺地区環境との調和に配慮しつつ、地域の特性を生かした新たな産業地の創出を図ります。
…川越工業団地・卸商団地の拡充

②水と緑の拠点整備

- ・本市の自然環境を生かした、新たな魅力づくりを推進します。
… (仮称)川越市森林公園、伊佐沼公園、なぐわし公園、入間川河川敷の
(仮称)芳野公園、(仮称)池辺公園 等

③その他の公共公益施設等の整備

- ・新たな公共施設の立地については、周辺環境及び中心市街地の状況に配慮し適正に立地を推進します。
… 教育・文化施設、(仮称)川越市新清掃センター、スポーツ・多目的施設

②複合市街地の住環境の確保

- ・山田地区は、農地、低層住宅、流通系施設が混在した地区です。今後は、宅地化農地を適正に誘導し、流通系業務地区としての操業環境と中低層住宅地としての環境調和に配慮したまちづくりが求められてきます。
- ・泉町は、大規模工場跡地の計画的な開発により、商業施設と都市型住宅の建設が進んでいます。こうした地区では、商業地としての機能と住宅地における安全性、快適性、うるおい等を重視した総合的な市街地整備を検討することにより、多様な居住形態に対応した良質な住宅の供給を図っていきます。

③多様な人々が住み続けられる良質な住宅の供給

- ・公営住宅では、住宅に困窮する人々のために、適正に住宅を供給するよう努めます。特に、高齢者や障害者向けの住宅の供給も考える必要があります。また、民間住宅でも、多様な家族・世帯の状況に応じた住宅が適切に供給されるよう、積極的な支援・誘導策を検討します。

4) 新しい拠点の整備**(1) 周辺環境や地区特性に応じた新たな拠点整備**

本市は約70%が市街化調整区域です。その大部分は、豊かな田・畑等ですが、一部で産業地の拡大や公共公益施設そして水と緑の拠点等の整備が検討されています。

これらの新たな拠点整備については、周辺の豊かな自然環境等との調和を目指し、総合的・計画的な土地利用の検討を進めていきます。

①新たな産業地の創出

- ・周辺地区環境との調和に配慮しつつ、地域の特性を生かした新たな産業地の創出を図ります。
…川越工業団地・卸商団地の拡充

②水と緑の拠点整備

- ・本市の自然環境を生かした、新たな魅力づくりを推進します。
… (仮称)川越市森林公園、伊佐沼公園、なぐわし公園、入間川河川敷の
(仮称)芳野公園、(仮称)池辺公園 等

③その他の公共公益施設等の整備

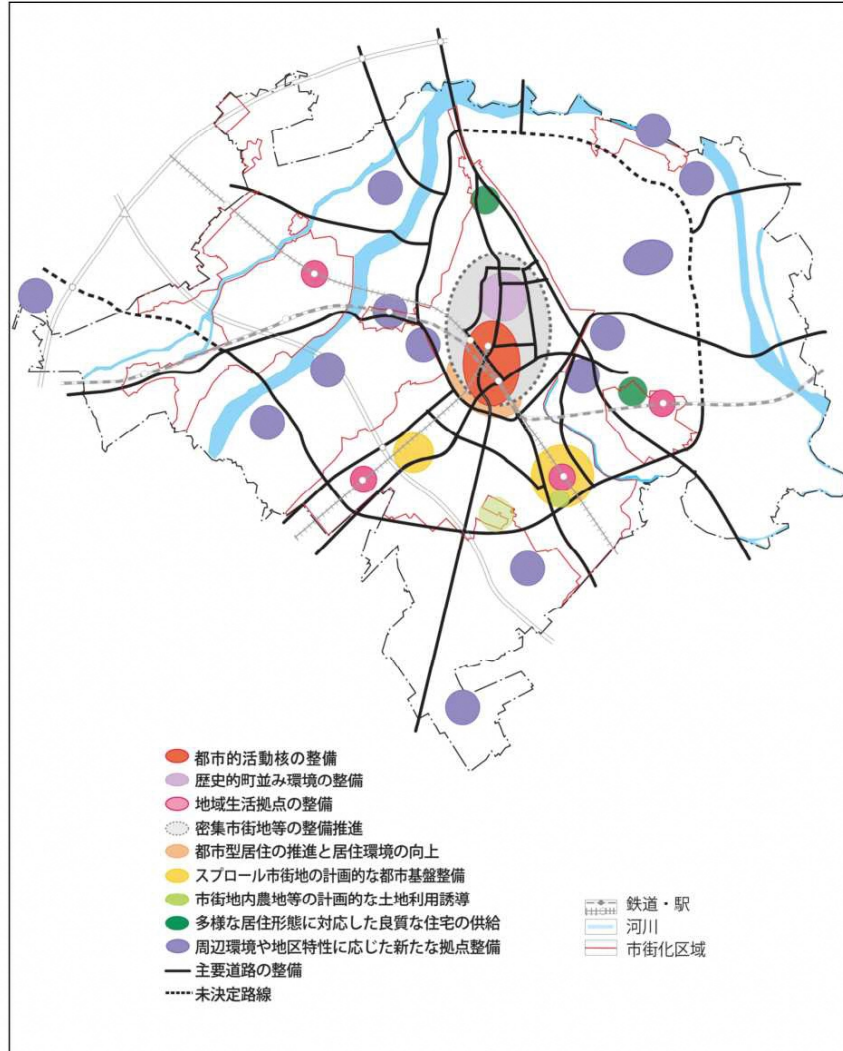
- ・新たな公共施設の立地については、周辺環境及び中心市街地の状況に配慮し適正に立地を推進します。
… 教育・文化施設、(仮称)川越市新清掃センター、スポーツ・多目的施設

(新)

④新たな生活核の充実

・現在、利用者が少ない駅周辺については、地域特性に応じた身近な生活拠点として、日常利便性の向上に対応した環境整備の充実を図ります。

●市街地整備の方針図



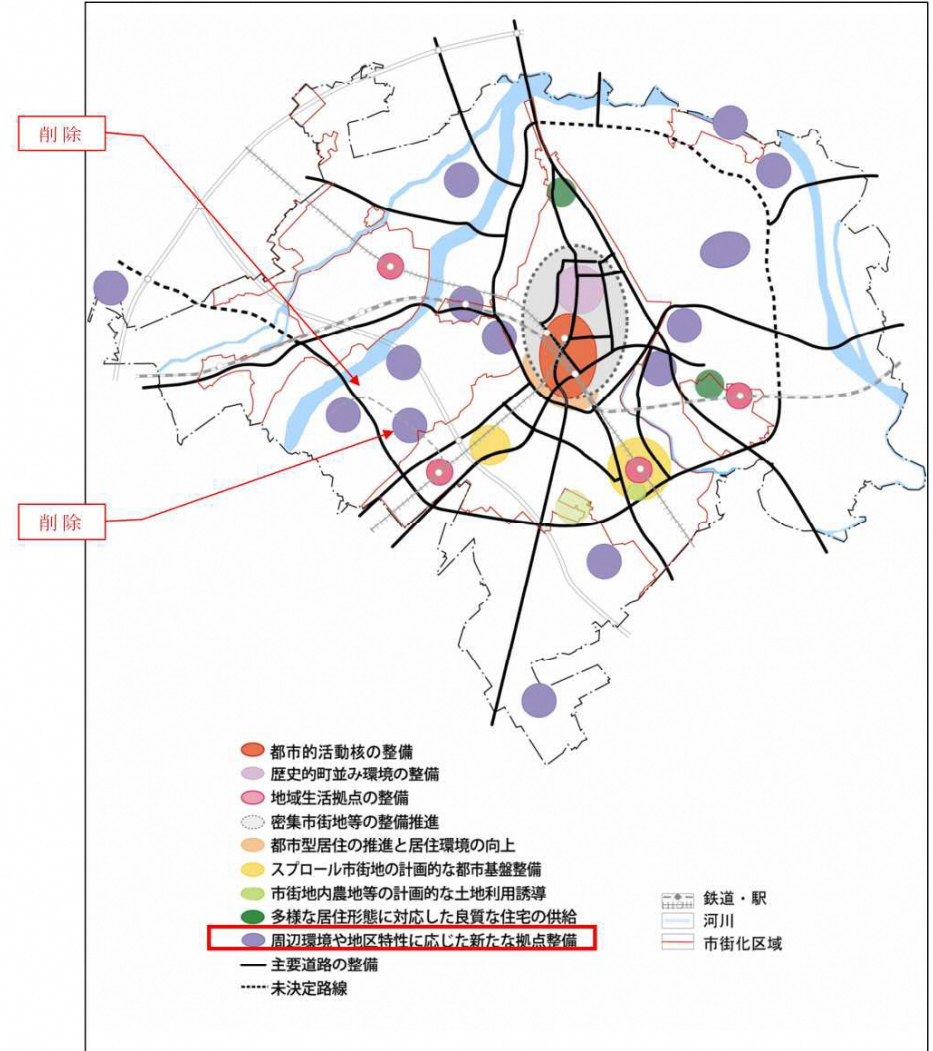
(旧)

④新たな生活核の充実

・現在、利用者が少ない駅周辺や、西武新宿線安比奈車両基地の設置に伴い計画されている新駅周辺については、地域特性に応じた身近な生活拠点として、日常利便性の向上に対応した環境整備の充実を図ります。

… 安比奈新駅周辺

●市街地整備の方針図



(新)

大東地区

■位置



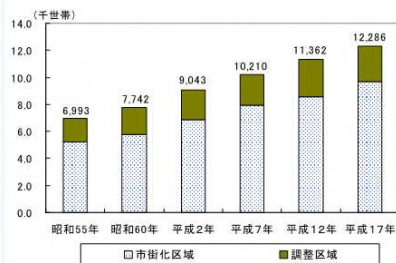
大東地区は狭山市に隣接して市の南西部に位置し、入間川と西武新宿線に挟まれた地区です。古くは「大田村」と「日東村」に分かれていましたが、その後「大東村」になり昭和30年に川越市に合併しました。まとまった耕地整理などはありませんが、昭和40年に地区南部に川越狭山工業団地が造られ、また、昭和46年には関越自動車道川越インターチェンジが開通し、市の工業の拠点、交通至便な地となっています。現在では、国道16号沿道や西武新宿線南大塚駅周辺に市街地が形成されつつあります。地区の6割を占める市街化調整区域は、田畑の広がる豊かな農村地域です。

■ひとくちデータ (国勢調査データ)

- 地区の面積 約 1,138.8 ha
- 地区の人口推移



●世帯数の推移



※平成21年1月現在
人口 33,579人 世帯数 13,392世帯

- 世帯あたり人員 2.5人/世帯
- 高齢化率 17.1% (65歳以上)

まちな歳時記

1月15日 南大塚の餅つき踊り
(西福寺～菅原神社)

(旧)

大東地区

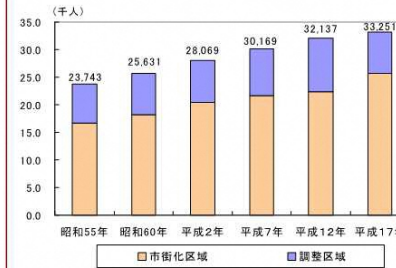
■位置



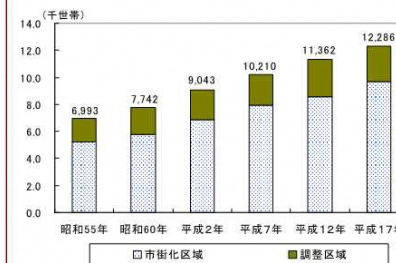
大東地区は狭山市に隣接して市の南西部に位置し、入間川と西武新宿線に挟まれた地区です。古くは「大田村」と「日東村」に分かれていましたが、その後「大東村」になり昭和30年に川越市に合併しました。まとまった耕地整理などはありませんが、昭和40年に地区南部に川越狭山工業団地が造られ、また、昭和46年には関越自動車道川越インターチェンジが開通し、市の工業の拠点、交通至便な地となっています。現在では、国道16号沿道や西武新宿線南大塚駅周辺に市街地が形成されつつあります。地区の6割を占める市街化調整区域は、田畑の広がる豊かな農村地域です。

■ひとくちデータ (国勢調査データ)

- 地区の面積 約 1,138.8 ha
- 地区の人口推移



●世帯数の推移



※平成21年1月現在
人口 33,579人 世帯数 13,392世帯

- 世帯あたり人員 2.5人/世帯
- 高齢化率 17.1% (65歳以上)

まちな歳時記

1月15日 南大塚の餅つき踊り
(西福寺～菅原神社)

1 まちづくりの課題

大東地区の6割は豊かな田園集落環境が広がる市街化調整区域です。市街地は南部に広がっており、市の産業の拠点、川越狭山工業団地も立地しています。南大塚駅周辺以外の市街地の多くは基盤整備が行われないうちに宅地化が進行しつつあります。このような大東地区のまちづくりの課題は次の通りです。

◆豊かな田園環境、集落環境の維持・保全

地区の北部一体に広がる市街化調整区域には、まとまった水田や畑が広がるとともに集落が散在し、地区の原風景といえる心地よい田園、集落環境が維持されています。地区の自然環境、景観、防災、産業、歴史や文化の資源となっています。将来に渡って、この良好な環境を維持・保全することが、地区の重要な課題です。

◆豊かな水と緑の維持・改善及び活用

地区の北西部には入間川が流れ、その河川敷には川越公園があり、水と緑のレクリエーション拠点として親しまれています。池辺の河川敷には豊かな樹林地があります。また、地区内には、長瀬川や赤間川などの小河川や水路が流れています。赤間川沿岸には斜面林などの良好な景観や自然が維持されており、人々の散策の場となっています。しかし、河川によっては、護岸整備により自然な環境や個性が失われたり、水が枯れたり、汚れているところもあります。また、由緒のある神社や寺も数多く点在しています。これら地区の自然環境、景観やレクリエーション、文化などの貴重な資源を維持あるいは改善し、日常生活の身近な空間として積極的な活用を図っていくことも重要です。

◆地区の骨格的道路の整備

地区の骨格的な道路が少ないことから、幹線道路の渋滞が慢性化しており、また、地区の狭い道路に車が進入して、交通安全上の指摘がされています。そのため、地域間及び地域内を連絡する骨格的道路の整備が必要となっています。

◆都市基盤整備が未整備な市街地の改善と良好な計画的市街地の形成

市街地は、川越狭山工業団地や四都野台の住宅地を除き、基盤整備が行われたところは少なく、古くからの形態のまま徐々に宅地化が地区南部に広がってきています。曲がりくねった狭い道路は、交通上の問題とともに防災上も問題となっています。このまま無秩序に市街化・高密度化が広がると、災害による危険性も高まってきます。一方、川越インターチェンジ周辺や国道16号沿道には、工場や商業と住宅が混在している地区があり、営業環境と住環境との摩擦が懸念されます。こうした都市基盤が未整備な市街地の改善や計画的で良好な市街地の形成がこれからの課題です。

1 まちづくりの課題

大東地区の6割は豊かな田園集落環境が広がる市街化調整区域です。市街地は南部に広がっており、市の産業の拠点、川越狭山工業団地も立地しています。南大塚駅周辺以外の市街地の多くは基盤整備が行われないうちに宅地化が進行しつつあります。このような大東地区のまちづくりの課題は次の通りです。

◆豊かな田園環境、集落環境の維持・保全

地区の北部一体に広がる市街化調整区域には、まとまった水田や畑が広がるとともに集落が散在し、地区の原風景といえる心地よい田園、集落環境が維持されています。地区の自然環境、景観、防災、産業、歴史や文化の資源となっています。将来に渡って、この良好な環境を維持・保全することが、地区の重要な課題です。

◆豊かな水と緑の維持・改善及び活用

地区の北西部には入間川が流れ、その河川敷には川越公園があり、水と緑のレクリエーション拠点として親しまれています。池辺の河川敷には豊かな樹林地があります。また、地区内には、長瀬川や赤間川などの小河川や水路が流れています。赤間川沿岸には斜面林などの良好な景観や自然が維持されており、人々の散策の場となっています。しかし、河川によっては、護岸整備により自然な環境や個性が失われたり、水が枯れたり、汚れているところもあります。また、由緒のある神社や寺も数多く点在しています。これら地区の自然環境、景観やレクリエーション、文化などの貴重な資源を維持あるいは改善し、日常生活の身近な空間として積極的な活用を図っていくことも重要です。

◆地区の骨格的道路の整備

地区の骨格的な道路が少ないことから、幹線道路の渋滞が慢性化しており、また、地区の狭い道路に車が進入して、交通安全上の指摘がされています。そのため、地域間及び地域内を連絡する骨格的道路の整備が必要となっています。

◆都市基盤整備が未整備な市街地の改善と良好な計画的市街地の形成

市街地は、川越狭山工業団地や四都野台の住宅地を除き、基盤整備が行われたところは少なく、古くからの形態のまま徐々に宅地化が地区南部に広がってきています。曲がりくねった狭い道路は、交通上の問題とともに防災上も問題となっています。このまま無秩序に市街化・高密度化が広がると、災害による危険性も高まってきます。一方、川越インターチェンジ周辺や国道16号沿道には、工場や商業と住宅が混在している地区があり、営業環境と住環境との摩擦が懸念されます。こうした都市基盤が未整備な市街地の改善や計画的で良好な市街地の形成がこれからの課題です。

◆地区の生活拠点の充実

大東地区の最寄り駅は、南大塚駅です。駅周辺には商業地が形成されていますが、まだ、未集積な状況にあります。南大塚駅周辺の商業地の利便性の強化や活性化、魅力づくりなど、地区の生活拠点として充実を図っていくことが課題です。

◆安比奈車両基地建設計画廃止後の土地利用の方向性

計画が廃止された安比奈車両基地建設地については、周辺環境との調和を図りながら、地区特性に応じた土地利用を誘導する必要があります。

2 まちづくりの目標

地区の現況と課題を踏まえて、大東地区のまちづくりのキャッチフレーズと目標を次のように設定します。

■まちづくりのキャッチフレーズ

文教と田園と花の香、夢が広がる生き生き 大東

■まちづくりの目標

◆水と緑や花に囲まれた自然の豊かなまちにしよう

- 農地や樹林地のまとまった良好な田園環境、集落環境、入間川や赤間川などの水辺環境を大切に守り、住宅地や工業地にも花や緑を育て、水と緑や花に囲まれた自然の豊かなまちを目指します。

◆農業と工業、住宅地それぞれに活力があり、バランス良く調和したまちにしよう

- 農業基盤の充実、工業の操業環境の保全・育成、快適な住宅地の形成を図り、農業と工業と住宅地がそれぞれに活力があり、バランス良く調和したまちを目指します。

◆南大塚駅とその周辺を核とした賑わいと文化のあるまちにしよう

- 南大塚駅周辺の商業の活性化等により、南大塚駅とその周辺を核とした賑わいのあるまちを目指します。

◆ボランティア活動やコミュニティが豊かなまちにしよう

- 世代間の交流の場や機会を豊かにし、子どもから高齢者まで、生き生き生活できるよう、住民相互のボランティア活動やコミュニティ豊かなまちを目指します。

◆地区の生活拠点の充実

大東地区の最寄り駅は、南大塚駅です。駅周辺には商業地が形成されていますが、まだ、未集積な状況にあります。南大塚駅周辺の商業地の利便性の強化や活性化、魅力づくりなど、地区の生活拠点として充実を図っていくことが課題です。

◆地域の要望に即した新しいプロジェクトの実現

大東地区には、西武鉄道車両基地建設とあわせて新駅の設置計画が検討されています。地区の特性や要望に即した十分な検討が必要です。

2 まちづくりの目標

地区の現況と課題を踏まえて、大東地区のまちづくりのキャッチフレーズと目標を次のように設定します。

■まちづくりのキャッチフレーズ

文教と田園と花の香、夢が広がる生き生き 大東

■まちづくりの目標

◆水と緑や花に囲まれた自然の豊かなまちにしよう

- 農地や樹林地のまとまった良好な田園環境、集落環境、入間川や赤間川などの水辺環境を大切に守り、住宅地や工業地にも花や緑を育て、水と緑や花に囲まれた自然の豊かなまちを目指します。

◆農業と工業、住宅地それぞれに活力があり、バランス良く調和したまちにしよう

- 農業基盤の充実、工業の操業環境の保全・育成、快適な住宅地の形成を図り、農業と工業と住宅地がそれぞれに活力があり、バランス良く調和したまちを目指します。

◆南大塚駅・新駅とその周辺を核とした賑わいと文化のあるまちにしよう

- 南大塚駅周辺の商業の活性化、西武鉄道車両基地の整備と合わせた新駅の開設により、南大塚駅と新駅、それらの周辺を核とした賑わいのあるまちを目指します。

◆ボランティア活動やコミュニティが豊かなまちにしよう

- 世代間の交流の場や機会を豊かにし、子どもから高齢者まで、生き生き生活できるよう、住民相互のボランティア活動やコミュニティ豊かなまちを目指します。

(新)

■まちづくりの方針の全体構成

1) 土地利用の方針	①自然環境が豊かで良好な田園環境・集落環境の保全 ②南大塚駅周辺の整備による生活拠点の整備 ③基盤整備が未整備な市街地の改善・計画的開発の誘導 ④基盤整備の整った良好な住宅地の保全・宅地化の促進 ⑤幹線道路沿道住宅地の形成 ⑥住工混在地の環境の調和と川越狭山工業団地の環境の維持 ⑦旧安比奈車両基地建設計画地における新たな拠点の形成
2) 道路・交通体系のまちづくり方針	①都市計画道路等幹線道路の整備 ②生活道路の整備による地区の利便性と安全性の向上 ③遊歩道など歩行者道路網の整備
3) 水と緑のまちづくり方針	①河川と沿岸の水辺環境、緑地環境の保全と活用 ②身近な緑やうらおいの創出、地域の資源を生かしたまちづくり
4) 防災まちづくりの方針	①災害に強いまちづくりの推進 ②防災体制の充実
5) 生活環境の保全・充実に関するまちづくり方針	①公共施設の整備 ②下水道等の整備 ③川越狭山工業団地の周辺住宅地への配慮・交流

(旧)

■まちづくりの方針の全体構成

1) 土地利用の方針	①自然環境が豊かで良好な田園環境・集落環境の保全 ②南大塚駅周辺の整備による生活拠点の整備 ③基盤整備が未整備な市街地の改善・計画的開発の誘導 ④基盤整備の整った良好な住宅地の保全・宅地化の促進 ⑤幹線道路沿道住宅地の形成 ⑥住工混在地の環境の調和と川越狭山工業団地の環境の維持
2) 道路・交通体系のまちづくり方針	①周辺環境に調和した安比奈車両基地の整備と新駅の設置 ②都市計画道路等幹線道路の整備 ③生活道路の整備による地区の利便性と安全性の向上 ④遊歩道など歩行者道路網の整備
3) 水と緑のまちづくり方針	①河川と沿岸の水辺環境、緑地環境の保全と活用 ②身近な緑やうらおいの創出、地域の資源を生かしたまちづくり
4) 防災まちづくりの方針	①災害に強いまちづくりの推進 ②防災体制の充実
5) 生活環境の保全・充実に関するまちづくり方針	①公共施設の整備 ②下水道等の整備 ③川越狭山工業団地の周辺住宅地への配慮・交流

(新)

■将来まちづくり方針図



<土地利用>

- 低層住宅地
- 中低層住宅地
- 沿道型住宅地
- 地区中心商業地
- 工業・流通地など
- 住・商・工共存地区
- 流通・業務系沿道利用地
- 農地
- 集落
- 緑地
- 河川敷

- * 都市施設など
 - 市街化区域・市街化調整区域
- <道路・水路・資源等>
- 広域高速道路
 - 広域幹線道路
 - 都市間幹線道路
 - 地区間幹線道路
 - 地区幹線道路
 - 河川・水路等
 - 鉄道・駅
 - 地域の歴史・自然資源等
 - 学校等

公共・公益施設等

- 主要な橋
- <都市構造等>
- 周辺環境や地区特性に応じた新たな拠点
 - 生活拠点
 - 水と緑の拠点
 - まちの顔
 - 水と緑の河川軸

※道路整備構想路線については具体的なルート及び位置等を規定するものではありません。

(旧)

■将来まちづくり方針図



<土地利用>

- 低層住宅地
- 中低層住宅地
- 沿道型住宅地
- 地区中心商業地
- 工業・流通地など
- 住・商・工共存地区
- 流通・業務系沿道利用地
- 農地
- 集落
- 緑地
- 河川敷

- * 都市施設など
 - 市街化区域・市街化調整区域
- <道路・水路・資源等>
- 広域高速道路
 - 広域幹線道路
 - 都市間幹線道路
 - 地区間幹線道路
 - 地区幹線道路
 - 河川・水路等
 - 鉄道・駅
 - 地域の歴史・自然資源等
 - 学校等

公共・公益施設等

- 主要な橋
- <都市構造等>
- 周辺環境や地区特性に応じた新たな拠点
 - 生活拠点
 - 水と緑の拠点
 - まちの顔
 - 水と緑の河川軸

※道路整備構想路線については具体的なルート及び位置等を規定するものではありません。

3 まちづくりの方針

「まちづくりの目標」を実現していくために必要な事項を、次の5つの部門に分け、それぞれの部門ごとの基本的な方針を掲げます。

1) 土地利用の方針

農業、工業、住宅がそれぞれに生き生きと活力があり、バランスのとれたまちとなるよう、次のような取り組みを進めていきます。

①自然環境が豊かで良好な田園環境・集落環境の保全

- ・ 地区中央から北部に広がる良好な水田、畑、樹林地、屋敷林の残る集落地の維持、保全を図ります。
- ・ 農地は、自然、景観、防災、産業などの多様な機能を持つ地区の重要な資源です。農業の振興策を総合的に検討し、市街化調整区域に広がる優良な農地やその他の農地について保全、育成を図ります。
- ・ 大袋、大袋新田などに点在するまとまった樹林地は、市民の森制度の活用等により、自然、景観、レクリエーション空間等として維持・保全を図ります。
- ・ 良好な集落環境は、土地の利用や建て替え等のルールづくりを進め、古くからの宅地形態や屋敷林、周辺の農地等とともに、その環境と景観を保全します。
- ・ 新たな建築行為や開発、土地利用については、地域でのルールづくりを進め、田園環境、集落環境に調和するよう誘導します。

②南大塚駅周辺の整備による生活拠点の整備

- ・ 南大塚駅周辺の商業地はやや活力が乏しい状況にあります。駐車場の整備等による利便性の向上、日常生活に対応できる商業の集積化と魅力づくりを図り、休日などに家族が楽しめる場としての地区の生活拠点の形成を目指します。

③基盤整備が未整備な市街地の改善・計画的開発の誘導

- ・ 生産緑地は、生産性の高い農地、貴重な緑地空間、災害時の防災空間としての役割があるため積極的に保全します。生産緑地の解除に際しては、周辺環境と調和した良好な土地利用を誘導します。
- ・ 市街化区域内の宅地化農地については、計画的な宅地化を促進し、周辺環境と調和した良好な土地利用や開発を誘導します。
- ・ 寿町、豊田本、大塚新田、南大塚などの道路や公園等が整備されないままに住宅地形成されつつある地域は、地区計画制度などを活用し、長期的、段階的に道路及び公園等を整備し、戸建て住宅を中心としたうるおいのある緑豊かな低層住宅地への改善を図ります。

3 まちづくりの方針

「まちづくりの目標」を実現していくために必要な事項を、次の5つの部門に分け、それぞれの部門ごとの基本的な方針を掲げます。

1) 土地利用の方針

農業、工業、住宅がそれぞれに生き生きと活力があり、バランスのとれたまちとなるよう、次のような取り組みを進めていきます。

①自然環境が豊かで良好な田園環境・集落環境の保全

- ・ 地区中央から北部に広がる良好な水田、畑、樹林地、屋敷林の残る集落地の維持、保全を図ります。
- ・ 農地は、自然、景観、防災、産業などの多様な機能を持つ地区の重要な資源です。農業の振興策を総合的に検討し、市街化調整区域に広がる優良な農地やその他の農地について保全、育成を図ります。
- ・ 大袋、大袋新田などに点在するまとまった樹林地は、市民の森制度の活用等により、自然、景観、レクリエーション空間等として維持・保全を図ります。
- ・ 良好な集落環境は、土地の利用や建て替え等のルールづくりを進め、古くからの宅地形態や屋敷林、周辺の農地等とともに、その環境と景観を保全します。
- ・ 新たな建築行為や開発、土地利用については、地域でのルールづくりを進め、田園環境、集落環境に調和するよう誘導します。

②南大塚駅周辺の整備による生活拠点の整備

- ・ 南大塚駅周辺の商業地はやや活力が乏しい状況にあります。駐車場の整備等による利便性の向上、日常生活に対応できる商業の集積化と魅力づくりを図り、休日などに家族が楽しめる場としての地区の生活拠点の形成を目指します。

③基盤整備が未整備な市街地の改善・計画的開発の誘導

- ・ 生産緑地は、生産性の高い農地、貴重な緑地空間、災害時の防災空間としての役割があるため積極的に保全します。生産緑地の解除に際しては、周辺環境と調和した良好な土地利用を誘導します。
- ・ 市街化区域内の宅地化農地については、計画的な宅地化を促進し、周辺環境と調和した良好な土地利用や開発を誘導します。
- ・ 寿町、豊田本、大塚新田、南大塚などの道路や公園等が整備されないままに住宅地形成されつつある地域は、地区計画制度などを活用し、長期的、段階的に道路及び公園等を整備し、戸建て住宅を中心としたうるおいのある緑豊かな低層住宅地への改善を図ります。

(新)

- ・南台2・3丁目、南大塚、豊田新田のマンション等の中高層住宅と戸建て住宅が共存する地区では、基盤整備とともに戸建て住宅に配慮したマンションの建て方のルールなどを検討し、都市型の利便性の高い中低層住宅地の形成を図ります。

④基盤整備の整った良好な住宅地の保全・宅地化の促進

- ・豊田新田、大塚新田の区画整理済み及び事業中の住宅地や日東団地など一団の開発地は、宅地化を促進するとともに、地区計画制度など地区のルールづくりを行い、ゆとりと魅力のある緑豊かな低層住宅地として形成・維持・保全を図ります。

⑤幹線道路等沿道住宅地の形成

- ・国道16号沿道については、背後の住宅地へ配慮しつつ土地の合理的活用により、自動車関連施設や沿道型商業施設、流通・業務系施設の立地を誘導します。また、沿道の建物の不燃化と高度利用の誘導によって、背後の住宅地に対しての防音・防火機能の高いゾーンの形成を促進します。
- ・西武新宿線沿線、川越駅南大塚線沿道、川越インターチェンジ以南の関越自動車道沿道は、背後に広がる住宅地の良好な環境を守るため、不燃化を促進し、防災・防音機能の高い緩衝機能を持った都市型中高層住宅地の形成を図ります。

⑥住工混在地の環境の調和と川越狭山工業団地の環境の維持

- ・川越インターチェンジの周辺等に広がる住宅、工場、商業が混在する地域については、中小工場の集約化、住宅街区と工場街区の区分、工場の緑化等による住宅地への配慮など住・商・工の共存のあり方を検討し、それらが共存、調和した地区の形成を図ります。
- ・川越狭山工業団地は市の工業拠点の一つです。緑化の推進など周辺環境に配慮しつつ、産業政策との調整を図った高次機能の導入や環境の確保等を図り、産業の育成と利便性の向上を進めます。

⑦旧安比奈車両基地建設計画地における新たな拠点の形成

- ・旧安比奈車両基地建設計画地については、周辺環境や地区特性に応じた新たな拠点が形成されるよう、計画的に土地利用を誘導していきます。

(旧)

- ・南台2・3丁目、南大塚、豊田新田のマンション等の中高層住宅と戸建て住宅が共存する地区では、基盤整備とともに戸建て住宅に配慮したマンションの建て方のルールなどを検討し、都市型の利便性の高い中低層住宅地の形成を図ります。

④基盤整備の整った良好な住宅地の保全・宅地化の促進

- ・豊田新田、大塚新田の区画整理済み及び事業中の住宅地や日東団地など一団の開発地は、宅地化を促進するとともに、地区計画制度など地区のルールづくりを行い、ゆとりと魅力のある緑豊かな低層住宅地として形成・維持・保全を図ります。

⑤幹線道路等沿道住宅地の形成

- ・国道16号沿道については、背後の住宅地へ配慮しつつ土地の合理的活用により、自動車関連施設や沿道型商業施設、流通・業務系施設の立地を誘導します。また、沿道の建物の不燃化と高度利用の誘導によって、背後の住宅地に対しての防音・防火機能の高いゾーンの形成を促進します。
- ・西武新宿線沿線、川越駅南大塚線沿道、川越インターチェンジ以南の関越自動車道沿道は、背後に広がる住宅地の良好な環境を守るため、不燃化を促進し、防災・防音機能の高い緩衝機能を持った都市型中高層住宅地の形成を図ります。

⑥住工混在地の環境の調和と川越狭山工業団地の環境の維持

- ・川越インターチェンジの周辺等に広がる住宅、工場、商業が混在する地域については、中小工場の集約化、住宅街区と工場街区の区分、工場の緑化等による住宅地への配慮など住・商・工の共存のあり方を検討し、それらが共存、調和した地区の形成を図ります。
- ・川越狭山工業団地は市の工業拠点の一つです。緑化の推進など周辺環境に配慮しつつ、産業政策との調整を図った高次機能の導入や環境の確保等を図り、産業の育成と利便性の向上を進めます。

2) 道路・交通体系のまちづくり方針

南大塚駅を地区の拠点とし、また、都市計画道路の整備により、地区の利便性と安全性の向上を図るとともに、生活道路の整備、サイクリングロードの整備により安全で快適な道路交通環境づくりを目指します。

①都市計画道路等幹線道路の整備

- 幹線道路の渋滞の解消、地域間・都市間の交通利便性の向上を図るため、以下の幹線道路の整備を進めます。整備に際しては、街路樹の整備、緑地帯の設置など周辺環境に十分に配慮しうおいのある沿道空間、景観形成を図るとともにすべての人が安心して利用できる歩行者空間を確保します。

◆広域幹線道路の整備

- 周辺都市間を結び、中心市街地への通過交通を防ぐバイパス機能の強化を図ることから、(仮称)外環状線及び(仮称)新川越越生線の整備を促進します。

◆都市間幹線道路の整備

- 広域幹線道路を補完し、周辺市と連携する主軸として、また、地域の利便性の向上、通過交通の軽減を図るため、都市間幹線道路として(仮称)川越狭山線、川越駅南大塚線、地域間幹線道路として(仮称)広栄町上寺山線の整備を図ります。
- 旧県道は国道16号の抜け道となっており、交通量が多い道路のため、歩道を整備し、歩行者や自転車の安全性の確保及び向上を図ります。

②生活道路の整備による地区の利便性と安全性の向上

- 地区内の幹線道路間を結ぶ道路が不十分であることから、狭い道路に車が集中するなどの問題が発生しています。地区内の交通の安全性と利便性及び防災性の向上を図るため、既存の道路を活用し、地域の幹線道路相互を結ぶ道路として地区幹線道路の整備を進めます。
- 基盤整備が遅れている市街地では、地区の利便性や防災性の向上を図るため、土地区画整理事業等により、生活道路の整備を進めます。
- 集落地内の地区の利便性や防災性の向上を図るため、生活道路の整備を進めます。
- 見通しの悪い道路や交差点について、交通安全施設の整備、交差点の改良等により、安全性の向上を図ります。
- 通学路を点検し、危険な箇所については、交通安全施設の整備、歩道の拡幅等により通学路の安全性を確保します。

2) 道路・交通体系のまちづくり方針

南大塚駅と西武新宿線安比奈車両基地の整備とあわせた新駅を地区の拠点とし、また、都市計画道路の整備により、地区の利便性と安全性の向上を図るとともに、生活道路の整備、サイクリングロードの整備により安全で快適な道路交通環境づくりを目指します。

①周辺環境に調和した安比奈車両基地の整備と新駅の設置

- 増形地区の北部に西武新宿線安比奈車両基地の建設が計画されていますが、予定地はまとまった良好な農地であることから、整備に際しては、周辺農地や河川沿岸の自然環境と調和するよう鉄道事業者に要請していきます。
- 西武新宿線安比奈車両基地の整備とあわせて、地域の交通利便性の向上を図るため、新駅の整備を要請していきます。新駅周辺は田園の中の駅となるよう自然をできるだけ保全します。

②都市計画道路等幹線道路の整備

- 幹線道路の渋滞の解消、地域間・都市間の交通利便性の向上を図るため、以下の幹線道路の整備を進めます。整備に際しては、街路樹の整備、緑地帯の設置など周辺環境に十分に配慮しうおいのある沿道空間、景観形成を図るとともにすべての人が安心して利用できる歩行者空間を確保します。

◆広域幹線道路の整備

- 周辺都市間を結び、中心市街地への通過交通を防ぐバイパス機能の強化を図ることから、(仮称)外環状線及び(仮称)新川越越生線の整備を促進します。

◆都市間幹線道路の整備

- 広域幹線道路を補完し、周辺市と連携する主軸として、また、地域の利便性の向上、通過交通の軽減を図るため、都市間幹線道路として(仮称)川越狭山線、川越駅南大塚線、地域間幹線道路として(仮称)広栄町上寺山線の整備を図ります。
- 旧県道は国道16号の抜け道となっており、交通量が多い道路のため、歩道を整備し、歩行者や自転車の安全性の確保及び向上を図ります。

③生活道路の整備による地区の利便性と安全性の向上

- 地区内の幹線道路間を結ぶ道路が不十分であることから、狭い道路に車が集中するなどの問題が発生しています。地区内の交通の安全性と利便性及び防災性の向上を図るため、既存の道路を活用し、地域の幹線道路相互を結ぶ道路として地区幹線道路の整備を進めます。
- 基盤整備が遅れている市街地では、地区の利便性や防災性の向上を図るため、土地区画整理事業等により、生活道路の整備を進めます。

③遊歩道など歩行者道路網の整備

- ・ 主な公共施設や生活拠点、河川、田園地帯、社寺等をネットワークし、通勤・通学、買い物、地域の散策など日常生活において安全、快適に利用できる遊歩道やサイクリングロードの整備を進めます。

- ・ 集落地内の地区の利便性や防災性の向上を図るため、生活道路の整備を進めます。
- ・ 見通しの悪い道路や交差点について、交通安全施設の整備、交差点の改良等により、安全性の向上を図ります。
- ・ 通学路を点検し、危険な箇所については、交通安全施設の整備、歩道の拡幅等により通学路の安全性を確保します。

④遊歩道など歩行者道路網の整備

- ・ 主な公共施設や生活拠点、河川、田園地帯、社寺等をネットワークし、通勤・通学、買い物、地域の散策など日常生活において安全、快適に利用できる遊歩道やサイクリングロードの整備を進めます。

3) 水と緑のまちづくり方針

水の循環や生態系に配慮し、入間川や地区内を流れる小河川、水路、農地や樹林地、社寺や集落の緑を生かした、ゆとりとうるおいのある自然環境や生活環境の保全・形成及び景観の形成を目指して、次のような取り組みを進めていきます。

①河川と沿岸の水辺・緑地環境の保全と活用

- ・ 広々とした入間川とその沿岸は、地区の自然環境、良好な景観のポイントとして、また、レクリエーションの場として親しまれていることから、可能な限り自然環境や生態系の維持・保全を図ります。
- ・ 川越公園については、快適な環境を維持し、必要な施設の充実を図ります。
- ・ (仮称)池辺公園の整備にあたっては、自然が息づく河川敷を利用した公園の整備を検討します。現在はゴミ捨て場やゴミの焼却場になっているところもあり、その改善を図ります。
- ・ 赤間川とその沿岸は散策できる心地よい自然空間を残していることから、その環境の維持・保全を図ります。
- ・ 長瀬川は、U字溝の整備が行われています。上部が通学路として使われていますが、危険な場所もあります。そのため、道路の拡幅や柵の整備などにより、安全性と快適性の確保を図るとともに、将来は魚が住むような自然条件の回復と川の浄化を目指します。

②身近な緑やうるおいの創出、地域の資源を生かしたまちづくり

- ・ 全ての人が親しめ、防災性にも配慮した身近な公園や広場の整備を進めます。
- ・ 社寺など地域の歴史・文化を伝える良好な環境や樹木の保全、また、古くから伝わる伝統的な祭りや行事の継承を図ります。
- ・ 生産緑地は、まちの身近な農業とのふれあいの場として保全を図るとともに、市民農園等としての利用を検討します。

3) 水と緑のまちづくり方針

水の循環や生態系に配慮し、入間川や地区内を流れる小河川、水路、農地や樹林地、社寺や集落の緑を生かした、ゆとりとうるおいのある自然環境や生活環境の保全・形成及び景観の形成を目指して、次のような取り組みを進めていきます。

①河川と沿岸の水辺・緑地環境の保全と活用

- ・ 広々とした入間川とその沿岸は、地区の自然環境、良好な景観のポイントとして、また、レクリエーションの場として親しまれていることから、可能な限り自然環境や生態系の維持・保全を図ります。
- ・ 川越公園については、快適な環境を維持し、必要な施設の充実を図ります。
- ・ (仮称)池辺公園の整備にあたっては、自然が息づく河川敷を利用した公園の整備を検討します。現在はゴミ捨て場やゴミの焼却場になっているところもあり、その改善を図ります。
- ・ 赤間川とその沿岸は散策できる心地よい自然空間を残していることから、その環境の維持・保全を図ります。
- ・ 長瀬川は、U字溝の整備が行われています。上部が通学路として使われていますが、危険な場所もあります。そのため、道路の拡幅や柵の整備などにより、安全性と快適性の確保を図るとともに、将来は魚が住むような自然条件の回復と川の浄化を目指します。

②身近な緑やうるおいの創出、地域の資源を生かしたまちづくり

- ・ 全ての人が親しめ、防災性にも配慮した身近な公園や広場の整備を進めます。
- ・ 社寺など地域の歴史・文化を伝える良好な環境や樹木の保全、また、古くから伝わる伝統的な祭りや行事の継承を図ります。
- ・ 生産緑地は、まちの身近な農業とのふれあいの場として保全を図るとともに、市民農園等としての利用を検討します。

(新)

- ・ 公共施設や民間の大規模施設については、積極的に緑化、オープンスペースの確保、景観の形成を進めます。
- ・ 川越狭山工業団地など、工場や事業所の緑化と景観の形成を促進します。
- ・ 住宅地においては、宅地内の樹林や生け垣等の保全、緑化を推進し、景観の形成を図ります。
- ・ 入間川や赤間川、田園・集落環境、公園、寺社、公共施設など自然や緑、歴史や文化の資源を遊歩道やサイクリングロードで結び、身近に親しめる水と緑、景観、文化のネットワークづくりを進めます。

4) 防災まちづくりの方針

災害に強く、安心、安全に暮らせる生活環境の形成を目指して、次のような取り組みを進めていきます。

①災害に強いまちづくりの推進

- ・ (仮称)外環状線、(仮称)新川越生線、(仮称)川越狭山線、川越駅南大塚線、(仮称)広栄町上寺山線の幹線道路の整備により、防災活動の円滑化を図ります。
- ・ 災害時における市街地火災の拡大防止、また、防災活動や避難ルートの確保を図るため、国道16号、(仮称)外環状線沿道の不燃化の促進を図ります
- ・ 公共施設の安全化とともに、防災活動に対応できる施設として設備等の整備を進め、災害時の避難場所、活動の拠点として機能の充実を図ります。
- ・ 集落環境の安全性を確保するため、個々の住宅の耐震性や難燃性の強化、集落の高密化の防止、屋敷林の保全及び無秩序な開発の防止等を進め、集落環境の保全を促進します。
- ・ 市街地の住宅地においては、個々の住宅の耐震性や不燃性の強化、生活道路の整備、密集化や無秩序な開発の防止、公園の確保、農地やオープンスペースの保全及び緑化の推進等により防災性の高い市街地の形成を促進します。
- ・ 南大塚駅周辺においては、不燃化の促進等を図り、大東地区における生活拠点の安全化を図ります。
- ・ 川越狭山工業団地等の建物や設備の安全化、出火危険物等の安全対策、緑化の推進及び企業内の防災体制の充実等により、工業・業務地の安全化を促進します。
- ・ 赤間川をはじめとした河川沿岸、南大塚駅周辺及び卸売市場周辺等地域の浸水対策を強化します。
- ・ 公共施設等の大規模な施設計画・建築計画にあわせ、貯留方式や浸透方式の雨水流出抑制施設の整備を図り、水害の防止を目指します。

(旧)

- ・ 公共施設や民間の大規模施設については、積極的に緑化、オープンスペースの確保、景観の形成を進めます。
- ・ 川越狭山工業団地など、工場や事業所の緑化と景観の形成を促進します。
- ・ 住宅地においては、宅地内の樹林や生け垣等の保全、緑化を推進し、景観の形成を図ります。
- ・ 入間川や赤間川、田園・集落環境、公園、寺社、公共施設など自然や緑、歴史や文化の資源を遊歩道やサイクリングロードで結び、身近に親しめる水と緑、景観、文化のネットワークづくりを進めます。

4) 防災まちづくりの方針

災害に強く、安心、安全に暮らせる生活環境の形成を目指して、次のような取り組みを進めていきます。

①災害に強いまちづくりの推進

- ・ (仮称)外環状線、(仮称)新川越生線、(仮称)川越狭山線、川越駅南大塚線、(仮称)広栄町上寺山線の幹線道路の整備により、防災活動の円滑化を図ります。
- ・ 災害時における市街地火災の拡大防止、また、防災活動や避難ルートの確保を図るため、国道16号、(仮称)外環状線沿道の不燃化の促進を図ります
- ・ 公共施設の安全化とともに、防災活動に対応できる施設として設備等の整備を進め、災害時の避難場所、活動の拠点として機能の充実を図ります。
- ・ 集落環境の安全性を確保するため、個々の住宅の耐震性や難燃性の強化、集落の高密化の防止、屋敷林の保全及び無秩序な開発の防止等を進め、集落環境の保全を促進します。
- ・ 市街地の住宅地においては、個々の住宅の耐震性や不燃性の強化、生活道路の整備、密集化や無秩序な開発の防止、公園の確保、農地やオープンスペースの保全及び緑化の推進等により防災性の高い市街地の形成を促進します。
- ・ 南大塚駅周辺においては、不燃化の促進等を図り、大東地区における生活拠点の安全化を図ります。
- ・ 川越狭山工業団地等の建物や設備の安全化、出火危険物等の安全対策、緑化の推進及び企業内の防災体制の充実等により、工業・業務地の安全化を促進します。
- ・ 赤間川をはじめとした河川沿岸、南大塚駅周辺及び卸売市場周辺等地域の浸水対策を強化します。
- ・ 公共施設等の大規模な施設計画・建築計画にあわせ、貯留方式や浸透方式の雨水流出抑制施設の整備を図り、水害の防止を目指します。

(新)

②防災体制の充実

- ・ 住民の防災意識の高揚、地区単位の防災組織の育成、高齢者、障害者、児童、乳幼児などに配慮した救援・援助体制づくり等により、地域の防災体制の充実に促進します。

5) 生活環境の保全・充実に関するまちづくり方針

公共施設や下水道の整備により、生活環境の改善を図ります。

①公共施設の整備

- ・ 地域の文化、コミュニティ活動の拠点施設の整備を検討します。
- ・ 地区東部にある大学については、地域の生涯学習活動の核としての機能が期待されており、地域に開かれた施設となるよう要請します。
- ・ 南大塚駅については車イスも利用できる駅舎の改善を鉄道事業者に要請していきます。(改善済)

②下水道の整備

- ・ 市街化調整区域では、家庭雑排水等、浄化されていない水が流され、河川や水路を汚しています。このため、公共下水道と農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置事業を地域の状況に応じて整備し、生活環境の改善を進めます。

③川越狭山工業団地の周辺住宅地への配慮・交流

- ・ 川越狭山工業団地内での車のアイドリングをやめるなど、周辺住宅地への環境配慮を行うとともに、祭りの開催など地域住民との交流を積極的に進めます。

(旧)

②防災体制の充実

- ・ 住民の防災意識の高揚、地区単位の防災組織の育成、高齢者、障害者、児童、乳幼児などに配慮した救援・援助体制づくり等により、地域の防災体制の充実に促進します。

5) 生活環境の保全・充実に関するまちづくり方針

公共施設や下水道の整備により、生活環境の改善を図ります。

①公共施設の整備

- ・ 地域の文化、コミュニティ活動の拠点施設の整備を検討します。
- ・ 地区東部にある大学については、地域の生涯学習活動の核としての機能が期待されており、地域に開かれた施設となるよう要請します。
- ・ 南大塚駅については車イスも利用できる駅舎の改善を鉄道事業者に要請していきます。(改善済)

②下水道の整備

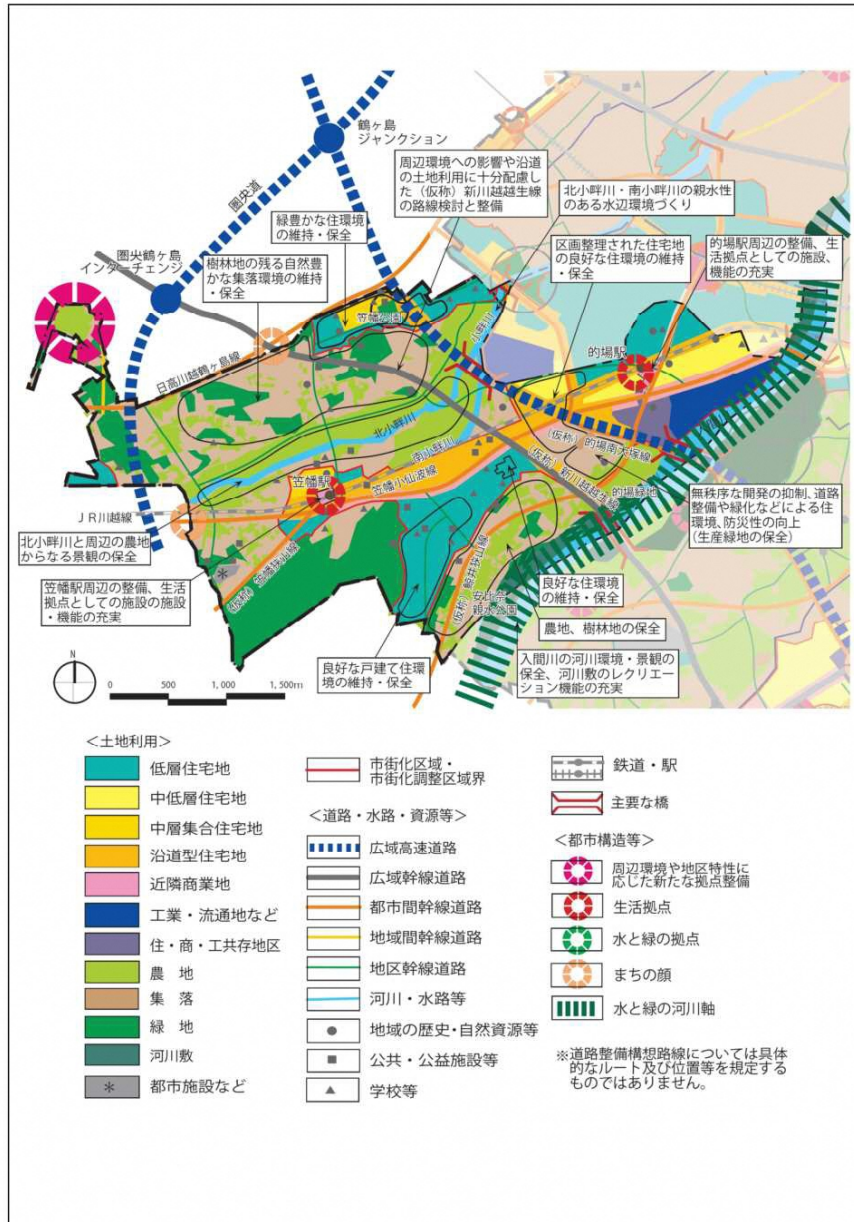
- ・ 市街化調整区域では、家庭雑排水等、浄化されていない水が流され、河川や水路を汚しています。このため、公共下水道と農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置事業を地域の状況に応じて整備し、生活環境の改善を進めます。

③川越狭山工業団地の周辺住宅地への配慮・交流

- ・ 川越狭山工業団地内での車のアイドリングをやめるなど、周辺住宅地への環境配慮を行うとともに、祭りの開催など地域住民との交流を積極的に進めます。

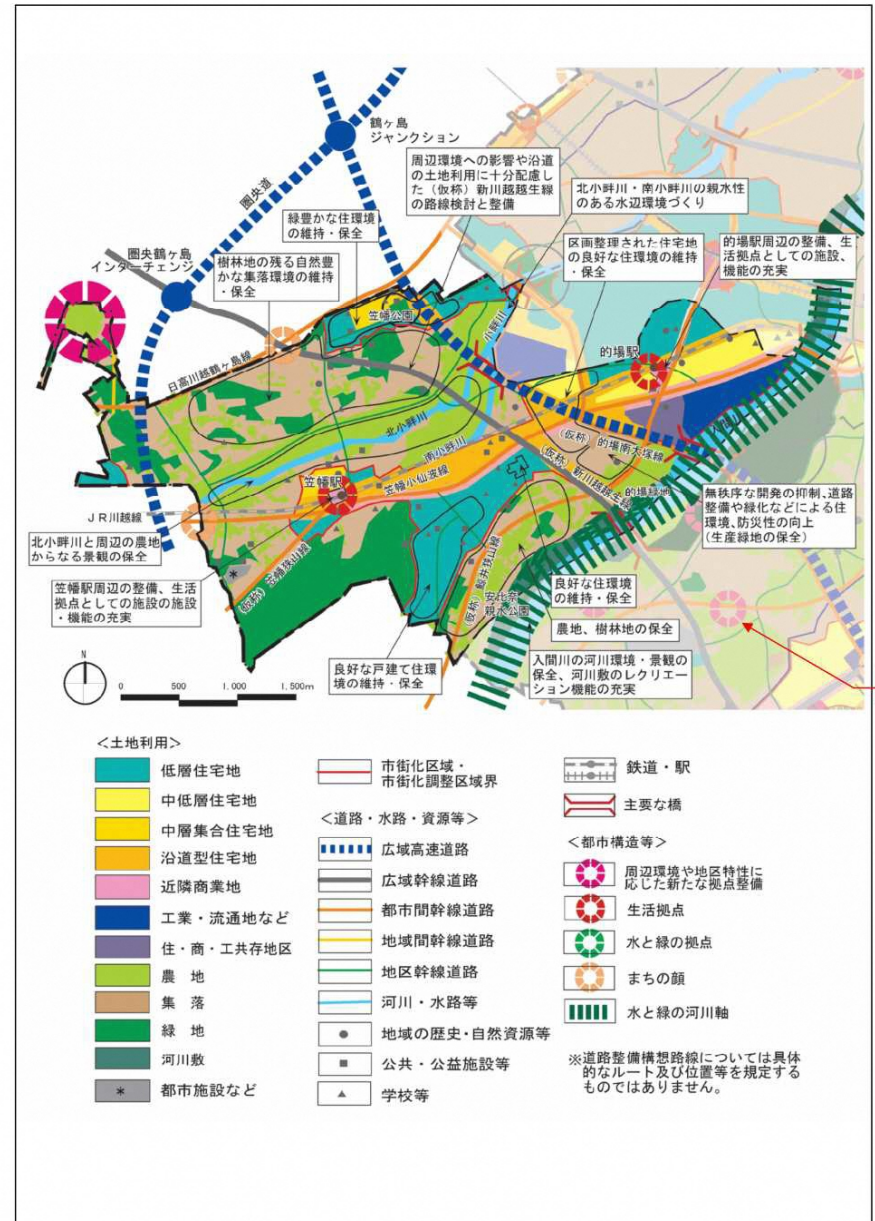
(新)

■将来まちづくり方針図



(旧)

■将来まちづくり方針図



削除